



有松まちづくりの会

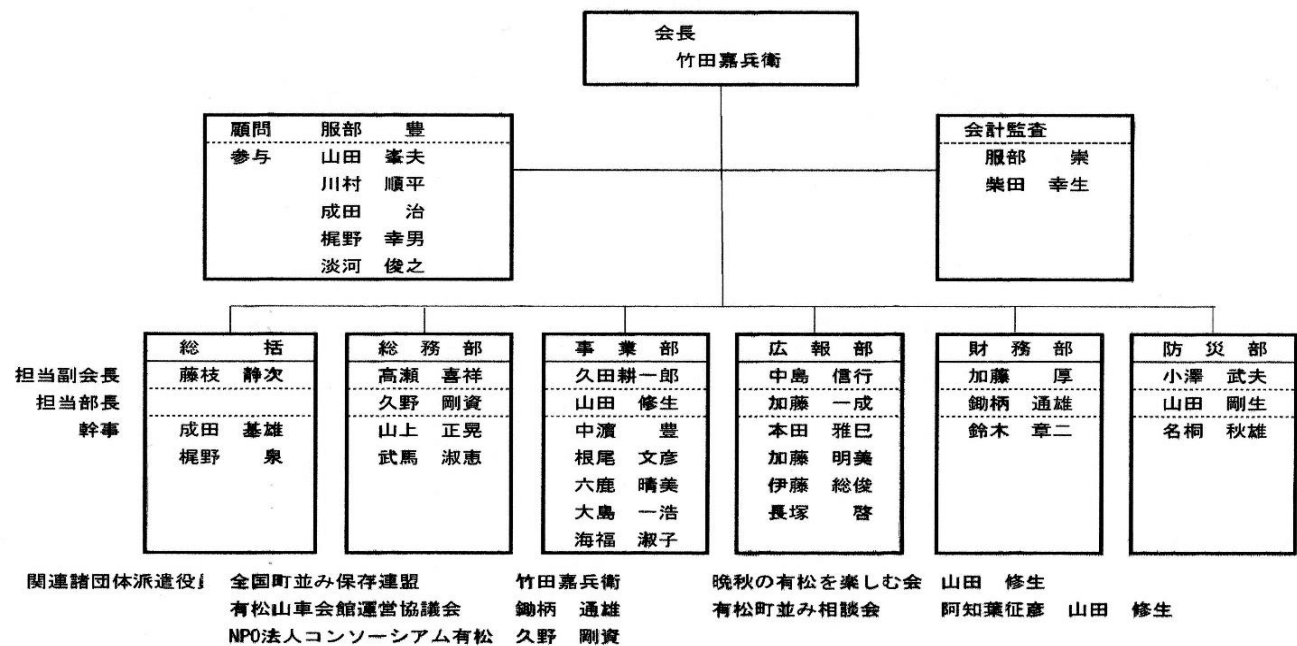
○ 令和元年度の組織が決まる（8月26日）

新人役員11名を加えて、有松まちづくりの会の組織が役員会で決まりました。

有松まちづくりの会

組 織 図

令和元年8月26日現在



○ 安城七夕まつりで有松をPR（8月2日・4日）

今年も碧海信用金庫本店前をお借りして、絞組合と共に有松をPRしました。重伝建の町並みのパネルや「日本遺産認定証」が飾られ、立ち寄った方に有松を紹介するパンフレットで説明していました。また、形状記憶の絞りのれんを20個ほど碧信本店入口に飾りました。

今年の安城七夕まつりは、竹あかり回廊や安城七夕神社の新御朱印の発行などが加わり、来場者は3日間で110万人（昨年は104万人）となりました。



碧信本店入口の形状記憶の絞りのれん

○ホームページ「有松のまち」改良（広報部の報告）

有松まちづくりの会のホームページ「有松のまち」のトップページを改良しました。

日本遺産進捗状況（歴まち室）

○ 今年度の事業項目決定

文化庁へ提出していた要望事業が決定されました。

〈事業の内容と担当団体〉

- ① 日本遺産のPRに携わる人材育成事業（あないびとの会・コンソーシアム有松）
- ② 日本遺産記念各種PR行事の実施（コンソーシアム有松）
- ③ 日本遺産となった有松の今後の姿検討（まちづくりの会）
- ④ 有松の佇まいに調和した絞り装飾の制作（コンソーシアム有松）
- ⑤ 有松の今後のまちづくりのための歴史調査研究（まちづくりの会）
- ⑥ 有松の伝承資料の収集と冊子づくり（あないびとの会）

まちあそび人生ゲームin有松（7月28日）

有松を舞台に、親子連れなど約800人が「リアル人生ゲーム」を楽しみました。店舗や観光施設を人生ゲームのマスに見立ててゴールを目指すもので、ゴールまでの速さではなく模擬通貨をいかに増やすかを競うものです。

スタートの有松小学校で職業カードを選び、地図と「初任給」をもらいます。ルーレットで出た目の店や施設に向かいます。指示に従って通貨を払ったりもらったりしてゴールを目指します。参加された子供に感想を聞くと「お金もらえてうれしかった」の返事が多かったです。実に楽しそうな様子でした。

ゲームには43の店や施設が参加しており、参加者はゲームを楽しむばかりでなく、日本遺産の町そのものも楽しんでいました。実際に模擬通貨で買い物をし、絞り染めの体験や限定メニューを味わうこともできました。建物内部を公開している岡家住宅には300人以上が訪れ説明を聞かれていました。絞り染め体験の有松工芸では、作業の順番を待つ間、絞りの歴史を聞くことができ有松の町をより深く理解できたようです。

当日は、有松あないびとの会や桜花学園の学生さん合計40人以上の皆さんが主催者である名古屋青年会議所に協力されました。有松の町の魅力をアピールできたようです。



「有松・鳴海絞り アフリカに行く」

名古屋市博物館で講演会行われる（8月10日）

名古屋市博物館の「はくぶつかん講座」で上記テーマで講演会が行われました。有松からも勉強熱心な方々が参加されておりました。当日はスヌーピーの誕生日ということで、関連の企画展が行なわれている博物館にはバス通りにまではみ出す人が訪れていました。

この講演会は、常設展示コーナーで7月24日から8月25日までの期間、同テーマで展示会が行われていることに合わせて企画されたものです。戦前戦後有松から輸出された絞りの製品見本や輸出先のコンゴの腰布が展示されていました。当時輸出に携わっていた、そして製品見本の提供をいただいた絞り商の山田峯夫さんの回想が吹き出しの形で紹介されてもいました。

講演会では、昨年嵐絞りを紹介して下さった学芸員の佐野尚子さんが、山田峯夫さんから伺った話を中心に約1時間お話しして下さいました。

〈講演要旨〉

昭和11年と23年の2回、有松からアフリカに絞りが輸出されていました。特に昭和23年の輸出によって、戦後停滞していた町は一気に活気づきました。町は藍一色に染まっていたそうです。でもわずか1年半でブームは去ってしまいました。それは当時為替レート540~700円だったのが政府の方針で360円の固定相場となり、一気に半額になり採算が取れなくなったためです。

当時輸出されていた絞りには次のような特徴がありました。

- ・大柄のものが好まれ、細かい絞りは好まれませんでした。
- ・紺色つまり藍染めが好まれました。背景に、藍染めには防虫の効果があったこともあったようです。
- ・サテンという光沢のある生地に絞ったものが好まれました。

有松の戦後復興はまさにアフリカへの輸出にありました。



シリーズ地域活動2 防犯パトロール

有松学区内を青色回転灯をキラキラさせて「青色防犯パト」が午前・午後・夜に巡回していることをご存じの方も多と思います。巡回されてる山本文雄さんに活動を紹介していただきました。

「昨年、区政協力委員になり初めて青パトに乗りました。緑警察署で講習を受け、パトロール実施者証をもらい乗務してきました。平成18年に緑区内では有松学区が最初に、区政協力委員を中心に始められた事業だといいますが、今は防犯連絡員、老人クラブ、ボランティアも加わっています。少しでも犯罪が抑止されるよう都合のつく限り乗務していきたいと思っています。」



青色防犯パトロール車

訪問 有松小学校トワイライトルーム 「有松を知ろう」と町をめぐる子どもたち

有松小学校トワイライトルームでは、参加児童のために「紙工作」や「将棋」「ダンス」「本の読み聞かせ」など様々な講座が用意されており、地域の方々が講師を担当しています。子どもたちは楽しく取り組んでいます。

その中の一つに、3年生以上を対象にした「有松を知ろう」という講座があります。開設して3年目。有松や有松小学校の歴史、飾り門や校章、有心歩道橋や有松人道橋といった身近にあるのに詳しくは知らない、学校では教えてくれないことを学んでいます。毎月1回、現地学習を原則として30分程度町に出て学んでいます。講師は有松あないびとの会の六鹿晴美さん、加藤明美さんのお二人。短い時間の中で子どもたちに楽しく有松を知ってもらおうと、毎回工夫を凝らし、事前学習を少ししてから現地に出かけています。

7月には有松の町が日本遺産に認定されたことを学んだ後、校会館に認定証を見に出かけました。座学だけではなかなか身につかない知識も、現地を確認することで印象が深まるようです。

8月は酷暑と外出控え日とが重なったため、初めて室内で行われることになりました。あないびとの会制作の紙芝居「庄九郎と仲間たち」「権平物語」を全学年で鑑賞し、昔の有松を想像し先人の暮らしぶりなどについて話し合いました。



催事・行事の予定

- 9月01日（日） 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り 青空市運営委員会
- 9月02日（月） 07:40 令和元年まちなみ研修 ～郡上八幡の歴史と文化を訪ねて～
- 9月15日（日） 09:30 敬老お祝い品お届け コミセン
- 9月22日（日） 07:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会
- 9月23日（月） 18:00 有松まちづくりの会役員会 コミセン
- 9月24日（火） 18:00 有松町並み相談会 コミセン 相談会

発行者:竹田嘉兵衛(有松まちづくりの会 会長)

編集者:加藤 一成(有松まちづくりの会 広報部員)

T・F 052-623-1676 090-4163-2671

E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp

有松まちづくりの会は、ホームページを公開してます。

有松のまち

検索